厚生労働省
秋田労働局

Press Release

令和５年９月 25 日
【照会先】
秋田労働局労働基準部健康安全課
課　　　長　　　北 林 浩 之
産業安全専門官　　　山 谷 博 樹
（電話）018－862－6683

報道関係者　各位

令和５年度 安全衛生に係る秋田労働局長表彰の実施について

秋田労働局（局長　山本博之）は、令和５年度の安全衛生に係る表彰式を下記により開催します。

なお、表彰は第 70 回秋田産業安全衛生大会(※)（主催：秋田県労働災害防止団体連絡協議会）において実施します。(※)参考資料のとおり。

本表彰は、安全衛生成績が極めて高い水準に達し他の模範と認められる優良事業場又は企業、長年にわたり安全衛生に尽くし安全衛生水準の向上発展に多大の貢献をした功労者等を表彰し、その努力を讃えるとともに、これを県民に周知することにより、安全衛生意識の高揚等を図り、もって労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成の促進に資することを目的としています。

報道機関の皆様におかれては、安全衛生意識が広く県民に浸透されるよう、取材･報道をお願いいたします。

記

１ 日　　時　令和５年 10 月２日（月）　１3時 15 分～14 時 05 分

２ 場　　所　あきた芸術劇場ミルハス　中ホール（秋田市千秋明徳町 2-52）
第 70 回秋田産業安全衛生大会（13 時 15 分～16 時 30 分）において実施

３ 受賞予定者　**秋田労働局長　優良賞**
鹿島建設株式会社 東北支店　秋田港・能代港洋上風力発電工事事務所
ベスタス・ジャパン株式会社　秋田港・能代港洋上風力発電建設工事作業所
株式会社タニタ秋田

秋田労働局長　奨励賞
秋田製錬株式会社
太平化成工業株式会社　森吉工場

鉄建建設株式会社　東北支店
荒屋鋪・丸茂・興栄・さとう特定建設工事共同企業体

秋田労働局長　安全衛生推進賞
鈴木 隆

〔添付資料〕
資 料 1　　令和5年度「安全衛生に係る秋田労働局長表彰」受賞者名簿
資 料 2　　秋田労働局長表彰に係る表彰理由
資 料 3　　安全衛生に係る労働局長表彰について（参考）
参考資料　　第70回 秋田産業安全衛生大会

資料１

令和５年度「安全衛生に係る秋田労働局長表彰」受賞者名簿

賞の種類	事業場名（工事名） 個人（所属団体名）	代表者 職氏名	所　在　地 （現場所在地）	業　種
優良賞 安全確保対策	鹿島建設株式会社 東北支店 秋田港・能代港洋上風力発電工事事務所 （工事名：秋田港・能代港洋上風力発電施設建設工事）	専務執行役員 東北支店長 勝治　博	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町１-27 （秋田市飯島字古道下川端 225-1）	土木工事業
優良賞 安全確保対策	ベスタス・ジャパン株式会社 秋田港・能代港洋上風力発電建設工事作業所 （工事名：秋田港・能代港洋上風力発電建設工事）	代表取締役社長 栗山 根年	〒107-0062 東京都港区南青山一丁目 1-1 新青山ビル西館 15 階 （秋田市飯島字古道下川端 225-1）	土木工事業
優良賞 健康確保 （有害物）対策	株式会社タニタ秋田	代表取締役社長 樫尾　昇	〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添 28-1	計量器測定器製造業
奨励賞 安全確保対策	秋田製錬株式会社	代表取締役社長 福田 健作	〒011-0911 秋田市飯島字古道下川端 217-9	非鉄金属製造業
奨励賞 安全確保対策	太平化成工業株式会社　森吉工場	代表取締役 金子 真也	〒018-4301 秋田県北秋田市米内沢字長野岱 102-26	電気機械器具製造業
奨励賞 安全確保対策	鉄建建設株式会社　東北支店 （工事名：田沢湖線羽後長野・鑓見内間斉内川橋りょう改築工事）	東北支店長 猪塚 武志	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町一丁目 12-7 （秋田県大仙市北長野字一ノ坪 36）	橋梁建設工事
奨励賞 安全確保対策	荒屋鋪・丸茂・興栄・さとう特定建設工事共同企業体 （工事名：大曲高等学校校舎棟建築工事）	代表者 ㈱荒屋鋪建設 代表取締役 今野 春夫	〒014-0001 秋田県大仙市花館字下殿屋敷 9 （大仙市大曲栄町６－７地内）	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事
安全衛生推進賞	鈴木　隆 （建設業労働災害防止協会秋田県支部 事務局長）		〒010-0951 秋田県秋田市山王四丁目 3-10	

資料２

令和５年度秋田労働局長表彰に係る表彰理由

秋田労働局長 優良賞（安全確保対策）

○ 事業場名：鹿島建設株式会社 東北支店　秋田港・能代港洋上風力発電工事事務所
秋田港・能代港洋上風力発電施設建設工事

表彰理由

・　日本初の大規模な洋上風力発電施設の建設工事（風車 33 基（秋田港沖 13 基、能代港沖 20 基、合計出力 138.6MW)のうち、風車の基礎部分の建設工事及び風車本体の建設工事にかかる作業船の管理等を行うに当たり、施工計画に基づき、工種ごとに具体的な作業計画を策定し、積極的にリスクアセスメントの取組を行っていたこと。

・　作業船の安全運航のため、作業中止基準の確認とその判断及び実際の運用ルールの確認等について周知徹底するとともに、国内法規等を踏まえた各種安全衛生対策について、協議・連絡調整を密接に行い、作業安全サイクルを確立していたこと。

・　海上工事に従事する船員及び船員以外の労働者に対する認証訓練を行っていたこと。また、不測の事態に備え、月１回、定期的に救助訓練や火災訓練を行っていたこと。

・　風車本体の組立工事を行うベスタス・ジャパン（株）と連携を図り、日常の作業打ち合わせのほか、災害防止協議会への相互参加や合同安全パトロールを行っていたこと。また、船上では互いの労働者が一緒に作業を行うため、外国人労働者と日本人労働者の言語の違いもあり、互いの意思疎通を図るため、積極的なコミュニケーションを図っていたこと。

以上のような創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動の水準が特に優秀で他の模範であると認められたこと。

秋田労働局長 優良賞（安全確保対策）

○ 事業場名：ベスタス・ジャパン株式会社　秋田港・能代港洋上風力発電建設工事作業所
秋田港・能代港洋上風力発電建設工事

表彰理由

・　日本初の大規模な洋上風力発電施設の建設工事風車(風車 33 基（秋田港沖 13 基、能代港沖 20 基、合計出力 138.6MW)のうち、風車の建設工事を行うに当たり、災害防止のためのリスクアセスメントを積極的に行うとともに、その内容の審査や現場パトロールを行っていたこと。

・　労働安全衛生法等の国内法の順守のみならず、国際標準に基づいた安全衛生管理を実施していたこと。また、作業者に対し、電気工事に係る特別教育やフルハーネスの

特別教育等のほか、外部機関が実施する各種安全衛生教育を受講させていたこと。

- ・ ヨーロッパから講師を招き、技術的なトレーニングや風車からの救出訓練等を実施していたこと。また、日本人と外国人が混在する現場であったため、入場者教育や安全標識を日本語と英語の両言語で提供していたほか、積極的なコミュニケーションを心掛けていたこと。
- ・ 工事期間を通じてヒヤリハットの提出を推奨し、提出されたヒヤリハットは、翌日の朝礼で共有し、作業員全員に対して注意喚起を図っていたこと。
- ・ 用具の落下による事故防止のため、各種用具と作業者をつなぐ「落下防止紐」の取扱方法について各作業者に1時間教育を行った上で使用させていたこと。
- ・ 作業船の運航管理を行う鹿島建設（株）と連携を図り、積極的な安全衛生管理活動を推進していたこと。

以上のような創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動の水準が特に優秀で他の模範であると認められたこと。

秋田労働局長 優良賞（健康確保(有害物)対策）

○ 事業場名：株式会社タニタ秋田

表彰理由

- ・ 化学物質に関する新たな業務や新しい化学物質を導入した際は、リスクアセスメントを実施し、その結果に基づいた作業方法の決定や保護具の選定を行っていること。
- ・ 新入社員及び新たに業務に就く労働者に対して、「新人安全教育」を実施し、その中で呼吸用保護具や手袋、防護服、保護メガネ等の保護具の使用について、丁寧な教育を行っていること。
- ・ 化学物質を取り扱う各作業場所の入口や作業場内に、保護具を着用する旨の掲示を行うなど「見える化」を行っており、保護具の着用を労働者にわかりやすく周知していること。
- ・ 毎年、「タニタ秋田安全衛生年間計画書」を作成し、特殊健康診断等の実施時期等を管理していること。
- ・ 労働者の生活習慣の改善、特に運動不足の労働者に運動を促すこと等を目的に、「タニタ秋田健康プロジェクト」を実施していること。このプロジェクトでは、労働者全員に自社製品の歩数計を支給し、1日5000歩歩くことを推奨している。また、支給している歩数計には体組成計や血圧計も備わっており、各労働者の歩数や健康データを社内のWEBサイト「からだカルテ」で管理している。なお、歩数等に応じてポイントを付与し、ポイント交換できるようにしており、労働者の意欲向上に努めていること。

・　取り扱っている化学物質の安全データシート(SDS)をまとめた「化学物質・有機溶剤使用管理票」を作成し、現に化学物質を使用する作業従事者のみならず、過去の作業従事者も記載し、特殊健康診断等から漏れないよう管理していること。

以上のような創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動の水準が特に優秀で他の模範であると認められたこと。

秋田労働局長　奨励賞（安全確保対策）

○　事業場名：秋田製錬株式会社

表彰理由

・　職場に潜む危険有害要因の洗い出しを継続的に行っていること。なお、作業内容等に変更がない場合でも毎年、全数評価を行っている。リスク評価は作業従事者が行い、その評価をもとに課長職が取りまとめを行うが、リスク評価の考え方等に相違が生じないようリスクアセスメントトレーナー研修を実施している。さらに、現場パトロールを録画したうえ、安全衛生委員会の場を活用してリスク評価を行っている。

・　新入社員の教育強化として、入社３年未満の社員は労働災害のリスクが高いことを考慮し、雇入時教育を充実させていること。具体的には入社後１か月間で、業務に関連する特別教育・技能講習を全て受講させたうえ必要な安全衛生教育を実施している。また、仕事に慣れ始める入社半年後を目途に機材を用いた体感教育、VR や動画を用いた KY 教育を実施し、危険有害性への感受性を高めている。

・　安全衛生活動を実施するにあたり、年間カレンダーを作成したうえで、計画的にパトロールや教育訓練等を実施していること。

・　協力会社の労働災害防止に向け、従来紙ベースで行っていた教育を動画試聴形式に変更するなど創意工夫した安全衛生管理活動の取組が認められること。

以上のような創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動の水準が優秀で他の模範であると認められたこと。

秋田労働局長　奨励賞（安全確保対策）

○　事業場名：太平化成工業株式会社　森吉工場

表彰理由

・　工場長の日々の現場巡視において作業内容を確認し、朝会の作業指示内容の確認を行っている。その際、朝会の作業指示以外の作業を把握したときは、当該作業の危険性等を洗い出し、対策を検討してリスクの低減を図っていること。また、塗装作業に

ついても同様に、ばく露防止対策に係る危険性等の洗い出し及び対策の検討を行い、リスクの低減を図っていること。

- チェックシートを作成し、日々の作業終了時に現場長（２名）による各現場の塗装関係、溶接関係、機械設備関係などの確認の徹底を行っていること。また、不具合箇所の確認や危険箇所の確認を行い、不具合箇所等の対応について工場長と調整し、早期改善に努めていること。
- 労働者参加型の労働災害防止活動として、休憩所近くに「労働災害防止の提案書」を備え付け、容易に提案できる体制を整備していること。
- トップによる安全衛生方針である安全基本理念の掲示、使用する機械設備への非定常作業に係る作業手順書の掲示（指差呼称の実施を含む）など、視覚で確認できる「見える化」による安全意識の高揚を図っていること。

以上のような創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動の水準が優秀で他の模範であると認められたこと。

秋田労働局長 奨励賞（安全確保対策）

○　事業場名：鉄建建設株式会社　東北支店

田沢湖線羽後長野・鑓見内間斉内川橋りょう改築工事

表彰理由：

- 全工期を通して、毎月「安全衛生管理計画表」を作成し、当該月の日ごとの作業内容を記録し、さらにその作業にかかる危険性・有害性をランク付けする等、労働災害のリスクの見積もりを行っていたこと。
- 毎月作成している「安全衛生管理計画表」にて、当月の「安全重点実施項目」を定め、各項目に対する具体的な取組事項を定めていたこと。また、各作業場所や工種における作業内容に対し、安全管理に関する「管理要点」を定め、労働災害防止に努めていたこと。
- 指揮命令系統に従って、工事管理者、工事安全専任管理者、線閉責任者、列車見張員、誘導員、重機運転者に、担当する任務や指示する相手、指示を受ける相手等を記載した「任務カード」を配布・携帯させることで、指揮命令系統を明確にするとともに、担当者が責任をもって作業を行うような工夫を行っていたこと。
- 毎月の安全協議会の際に、各下請事業者が現場をパトロールし、パトロール結果を安全協議会で話し合う等、元請と下請事業者間での連携が取れていたこと。また、安全協議会時のパトロールだけではなく、下請事業者が自主的にパトロールを実施し、その結果を元請へ提出する等、下請事業者が主体的に安全管理を行っていたこと。
- 安全教育について、下請事業者の労働者を含め、特に車両系建設機械等を使用した

作業が多いこと、鉄道にかかる工事であること等から、重機災害や鉄道事故にかかるＤＶＤを使用した教育を行うなど、現場の状況を踏まえ、工夫を凝らした安全教育を行っていたこと。

以上のような創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動の水準が優秀で他の模範であると認められたこと。

秋田労働局長 奨励賞（安全確保対策）

○　事業場名：荒屋鋪・丸茂・興栄・さとう特定建設工事共同企業体
大曲高等学校校舎棟建築工事

表彰理由：

・　年間安全衛生管理計画書において、日々リスクアセスメントを実施する計画を立て、事業場で用意した「リスクアセスメント危険予知活動表」を用いて、リスクアセスメントを継続的に実施していたこと。また、工事着工前に、全工種にかかるリスクアセスメントを実施していたこと。
・　毎月、共同企業体の職員が安全パトロールを実施していたほか、日々、作業開始前に下請事業場の職長が作業場所の巡視を行い、作業環境（照明の確保や整理整頓の状況）、安全設備（昇降設備、墜落防止、飛来落下防止）等について点検し、不備があったときは、元請に速やかに報告する体制を整備していたこと。
・　熱中症対策として、作業場所に WBGT 値測定器を設置し、暑さ指数を把握し、警戒レベル等がわかる看板を WBGT 値測定器の近くに設置することにより、管理者のみならず、労働者自身が暑さ指数を把握できるよう工夫していたこと。また、作業者の休憩室には冷蔵庫やエアコンを設置するほか、塩飴等の常備、休憩室付近へのミストファンの設置等により、熱中症予防対策を講じていたこと。
・　下請事業者の労働者を含め、時節や工事の進捗状況に応じた安全衛生教育を行っていたこと。例えば、冬季であれば、防寒具の着用により身体の動きが鈍くなることへの注意、除雪作業中の墜落防止、スリップ等による交通労働災害防止、屋内で暖房を使用する場合の一酸化炭素中毒の防止等について教育を実施していたこと。

以上のような創意工夫と労使の協力により実施される安全衛生意識の高揚のための活動の水準が優秀で他の模範であると認められたこと。

秋田労働局長賞 安全衛生推進賞

○　氏名（職名）：鈴木　隆（建設業労働災害防止協会秋田県支部 事務局長）

表彰理由：

- 建設業労働災害防止協会秋田県支部の事務局長として 10 年以上にわたり、県内各地域の建設業の安全衛生活動の支援に尽力していること。
- 国の委託事業である専門工事業者の安全衛生活動支援事業を展開し、会員事業場はもとより、関係団体と連携を図り、中小総合工事業者、設計コンサルタント業者及び地質調査業者を含む専門工事業者に対する安全衛生管理活動の取組を管理していること。
- 国の委託事業である自然災害からの復旧・復興工事安全衛生確保支援事業を県内において展開し、地域の安全・安心を確保するために必要不可欠な建設事業における安全衛生管理に貢献するなど地域の安全衛生水準の向上に貢献していること。

以上のとおり、長年にわたり県内の建設業における労働災害防止活動の業務に従事し、建設事業の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人と認められたこと。

資料３

参　　考

安全衛生に係る秋田労働局長表彰について
（関係部分抜粋）

○表彰の種類：　優良賞、奨励賞、団体賞、功績賞、安全衛生推進賞

優良賞、奨励賞の表彰にあたっての評価は、「共通評価事項」のほか、「選択評価事項」として、①安全確保対策、②健康確保（有害物）対策、③健康確保（健康保持増進等）対策、④高年齢労働者の安全衛生対策及び⑤外国人労働者の安全衛生確保対策がある。

【表彰基準】

＜共通評価事項＞

①　安全衛生管理体制を確立し、効果的に運用するとともに、安全衛生規程等を整備し、有効に運営していること。

②　トップによる安全衛生方針を明文化して労働者に周知していること。

③　年間安全衛生計画等を策定し、運用を徹底していること。

④　安全衛生管理組織による巡視、指導、創意工夫を凝らした自主的な安全衛生活動を活発に実施していると。

⑤　職業生活全般を通じた各段階における安全衛生教育を実施していること。

⑥　過去３年間(有期事業の場合は工事開始から一貫して)、特殊健康診断における新規有所見者の発生がなく、有害業務ごとの特殊健康診断における有所見率が同業種の全国平均値と比較して低いこと（該当する作業がある事業場に限る。)。

⑦　過去３年間(有期事業の場合は工事開始から一貫して)、労働安全衛生法その他安全衛生関係法令の重大な違反による労働災害等がないこと。など 14 項目

○優良賞

地域の中で、安全衛生に関する水準が特に良好で他の模範であると認められる事業場又は企業とする。

＜選択評価事項：安全確保対策＞

①　リスクアセスメントを計画的かつ継続的に実施しており、職場のリスクを低減する取組が特に活発で他の模範であること。

② 創意工夫と労使の協力により実施している安全衛生意識の高揚のための活動が特に活発で他の模範であること。

③ 構内に下請企業の労働者が多数作業を行っている事業場においては、総合的な安全衛生管理の確立等により、当該下請事業場の災害発生率等の安全成績が特に優れていること。など

<選択評価事項：健康確保(有害物)対策>

① 有害な作業環境及び一般的作業環境について、適正な測定及び評価を実施し、その結果発見した問題点を改善していること等有害業務に係る作業環境管理が特に優れていること。

② 作業方法の改善、保護具の着用及び保守管理等作業管理が特に優れていること。

③ 特殊健康診断を確実に実施し、かつ、これらの結果に基づく就業上の措置等健康管理が特に優れていること。

④ 化学物質製造・取扱事業場においては、化学物質管理（「化学物質等による危険性又は有害性等の調査等に関する指針」に基づく措置やラベル・ＳＤＳを活用した労働者教育等）が特に優れていること。など

○奨励賞

地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組が他の模範と認められる事業場又は企業とする。

<選択評価事項：安全確保対策>

① リスクアセスメントを計画的かつ継続的に実施しており、職場のリスクを低減する取組が活発で他の模範であること。

② 創意工夫と労使の協力により実施している安全衛生意識の高揚のための活動が活発で他の模範であること。

③ 構内に下請企業の労働者が多数作業を行っている事業場においては、総合的な安全衛生管理の確立等により、当該下請事業場の災害発生率等の安全成績が優れていること。など

○　安全衛生推進賞

地域の中で、長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人とする。ただし、過去に叙勲による勲章を受けた者及び同一の事由で褒章条例による褒章を受けた者を除く。

参考資料

安全第一

「安全第一」は、明治 39 年にアメリカの大手鉄鋼会社であるUSスチール社　の社長だったゲーリーが、工場の経営方針を「①安全第一、②品質第二、③生産第三」と改めたことに由来するといわれています。

当時のアメリカは「①生産第一、②品質第二、③安全第三」という経営理念を掲げている企業が多かったため労働災害が多発している時代でした。これを抜本的に変革したのがゲーリーで、この対策は思わぬ効果をもたらしました。目的としていた労働災害が減っただけではなく、作業効率が向上し、生産性や品質も向上したのです。このことが知れ渡ると、やがて他の工場もそれに倣うようになったといわれています。事業場の皆さん。是非、「安全第一」に取り組みましょう。

第5回(昭和7年)
全国安全週間ポスター

●「秋田産業安全衛生大会」開催趣旨

秋田県内の令和4年の休業4日以上の死傷災害は前年を上回り、近年は、増加傾向に歯止めがかからない状況となっています。特に、全産業に共通である転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する災害や、墜落・転落などの死亡災害が依然として後を絶たない状況です。

人口減少県でもある秋田県では、労働力不足となっている企業も多く、このような災害の発生は、たとえ1人が休業するだけであっても、職場の労働力に大きな影響を与えます。

また、労働災害が長く続くと、これを防止する手法に悩む企業や、対策がマンネリ化する企業も多く見受けられるようになりました。

当協議会では、そのような企業の一助となるよう、労働災害防止のための情報の発信という意味で産業安全衛生大会を開催し、労働安全衛生対策の意識付けとして安全衛生対策に優れた企業や安全衛生対策に寄与した個人を表彰する他、企業の安全衛生対策の参考となるような事例発表・最新情報や特別講演などを行っております。令和5年度は、最新の ICT 技術による社員教育・研修のシステム開発している企業からの発表があり、建設業、商業、社会福祉施設などあらゆる分野での活用が進む最新情報を得ることができます。

大会は、業種を問わず誰でもが参加でき、参加は無料。また、労働者規模等も問いません。

この機会に、「秋田産業安全衛生大会」に、参加されてはいかがですか。

参加する場合は、下記団体の会員である場合は、下記団体へ申込を、また、下記団体の非会員の場合で参加する時は、(一社)秋田県労働基準協会(裏面申込書を FAX にて送信)にお申込みください。

●会場展示ブース(出展企業)

大会当日は、中ホールホワイエ(ロビー)に労働安全衛生に関連する企業が出展するブースが設けられます(展示ブースでの販売はいたしません)。ご自由にご覧ください。　下記企業は追加されます。

・中央労働災害防止協会・㈱労働調査会　・東芝システムテクノロジー㈱・㈱谷沢製作所・㈱重松製作所
・㈱ピカコーポレーション・労働新聞社・理研計器㈱・㈱マックス・秋田産業保健総合支援センター

主催:秋田県労働災害防止団体連絡協議会

●一般社団法人秋田県労働基準協会	会 長　小笠原 孝史
秋田市大町三丁目2-44(協働大町ビル 3 階)	TEL 018(862)3362/FAX 018(862)3729
●建設業労働災害防止協会秋田県支部	支部長　北林 一成
秋田市山王四丁目3－10	TEL 018(823)5499/FAX 018(865)2306
●陸上貨物運送事業労働災害防止協会秋田県支部	支部長　赤上 信弥
秋田市寺内蛭根一丁目15－20	TEL 018(863)4874/FAX 018(863)7354
●林業・木材製造業労働災害防止協会秋田県支部	支部長　佐藤 重芳
秋田市東通二丁目7－35(秋田県木材会館内)	TEL 018(837)7762/FAX 018(837)7765
●港湾貨物運送事業労働災害防止協会秋田県支部	支部長　西宮 公平
秋田市土崎港西二丁目5－9	TEL 018(845)0185/FAX 018(845)4229
●独立行政法人労働者健康安全機構 秋田産業保健総合支援センター	所 長　佐藤 家隆
秋田市千秋久保田町6-6(秋田県総合保健センター4F)	TEL 018(884)7771/FAX 018(884)7781

秋田県労働災害防止団体連絡協議会

2023 年 第70回 秋田産業安全衛生大会

ご案内

入場無料

～ 危ないよ　声を掛け合い　安全確認
つなぐ言葉で　つながる明日 ～

大会　日時:　令和5年 10 月2日 (月) 13:15～16:30

場所:　あきた芸術劇場ミルハス　中ホール (秋田市千秋明徳町 2-52)

展示ブース展　日時:　10 月2日 (月) 10:30～16:00

場所:　あきた芸術劇場ミルハス　中ホールホワイエ

大会/特別講演

『心をのせたコミュニケーションが人生を豊かにする』

フリーアナウンサー(元日本テレビアナウンサー)
福 澤　朗 氏

大会/安全衛生事例発表

『ニューノーマルな働き方を実現する最新ソリューション』(仮題)
～ xR を活用したシステムの紹介 ～

東芝システムテクノロジー株式会社　営業技術部担当課長　加藤　寛之　氏

Safe work AKITA

主唱:秋田労働局
主催:秋田県労働災害防止団体連絡協議会
後援:秋田県

第70回秋田産業安全衛生大会次第

第1部　大会式典　　　(13:15～14:05)

●開会のことば　秋田県労働災害防止団体連絡協議会会長
●主唱者挨拶　秋田労働局長
●祝 辞　秋田県産業労働部長
●表彰式　事業場賞・個人賞

第2部　事例発表・講演

●安全衛生事例発表　(14:15～14:40)
『ニューノーマルな働き方を実現する最新ソリューション』
東芝システムテクノロジー株式会社
営業技術部営業技術部担当課長　**加藤　寛之**　氏

●特別講演　(14:45～16:15)
『心をのせたコミュニケーションが人生を豊かにする 』
フリーアナウンサー(元日本テレビアナウンサー)
講師　**福 澤　朗**　氏

特別講演講師プロフィール

福 澤　朗（ふくざわ あきら） 氏

略　歴 ： 1963 年 9 月 14 日生まれ。東京都出身。
1988 年、早稲田大学第一文学部を卒業。
同年、日本テレビ入社。アナウンサーとして、数々のヒット番組に出演。
2005 年 7 月、フリーアナウンサーに。

テレビ ： 日本テレビ	「エンタの神様」、「最強の頭脳　日本一決定戦!　頭脳王」
テレビ東京、BS テレ東	「開運!なんでも鑑定団」、「世界卓球」、「卓球ワールドカップ」、「鉄道沿線歩き旅」
テレビ大阪	「関西リーダー列伝」
BSJapanext(BS263ch)	「福澤朗の本であそぶ。」
過去の出演番組： 日本テレビ	「全日本プロレス中継」、「アメリカ横断ウルトラクイズ」、「とんねるずの生でダラダラいかせて!!」、「高校生クイズ」、「ズームイン!!朝!」、「真相報道バンキシャ!」、「ボイスⅡ 110　緊急指令室」
NHK	連続テレビ小説「まれ」
TBS	月曜名作劇場「内田康夫サスペンス　新・浅見光彦シリーズ　華の下にて」、日曜劇場「ブラックペアン」、日曜劇場「下町ロケット」、「義母と娘のブルース　2022 年謹賀新年スペシャル」、日曜劇場「DCU」
テレビ朝日	2 夜連続ドラマスペシャル「逃亡者」
Amazon プライム	「ファイナルライフ-明日、君が消えても-」
Hulu	Hulu U35 クリエーターズ・チャレンジグランプリ作品「まんたろうのラジオ体操」
他多数	

舞　台 ： 2016 年　演劇集団キャラメルボックス「彼は波の音がする　彼女は雨の音がする」
2021 年　方南ぐみ企画公演　朗読劇「青空」・「あの空を。」

趣　味 ： 日本酒、鉄道(呑み鉄)、和菓子、樹木ウォッチング
特　技 ： 卓球、漢字(日本漢字能力検定準 1 級)、最長のシャウト(ギネス世界記録認定)

第70回秋田産業安全衛生大会参加申込書

第70回秋田産業安全衛生大会(10 月2日(月))に参加を申し込みます。

※この申込書側(右半分(A4))を所属団体(P4下の団体)にFAXしてください。所属団体非会員の申込は、表の下「団体・非会員の場合」に○を記入して秋田県労働基準協会へ FAX(018-862-3729)願います。
申込者多数の場合、申込書2枚目を作成しFAX してください。

事業場名：	
所 在 地：	
TEL　(　　)	FAX　(　　)

No	所属先(部・課・工場・支店・営業所名等)	参加する方の氏名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
団体・非会員の場合(右欄に○)		

申込期限： 令和5年9月28日(木)

(ご注意) 申込は、参加者数等の把握のために行っています。
当日参加も可能です。当日参加の場合は、受付にて氏名等のご記入をお願いします。
※記載された個人情報は、この申込書以外の情報で使用することはありません。

第70回秋田産業安全衛生大会ブース展

あきた芸術劇場ミルハス　中ホールホワイエ

【展示会】

●ソリューション [VR・MR トレーニングシステム] 体験・安全衛生保護具・ガス検知器・図書・教育 DVD・安全衛生動画・安全表示作成プリンター　など多数

日時：令和5年**10月2日**(月)　**10:30～16:00**